

編 集 後 記

2018年に入り、この冬号をお届けしている2月は、受験生にとってはまさに正念場というような時期で、育友会員皆様のご子様も、この試練を乗り越えて専大生になられたものと思います。

4年生は卒業式を控え、3年生は就職戦線が始まり、2年生はゼミの選択など、大学の4年間はアツと言う間に過ぎ去っていきませんが、我々保護者も同様です。この間入学式があったと思ったらもう卒業式、という思いの4年生の

ご父母も多いのではないのでしょうか。

専修大学は2020年に創立140周年を迎える伝統のある大学ですが、保護者の組織である育友会も本年で設立60周年を迎えました。長い歴史から見ればほんの一時期ですが、専修大学との関りを持たたのも何かの縁であろうと思います。

学生は卒業すれば今度は校友会というOB組織の一員となり、学友は一生の友達として付き合い合っていくこととなりますが、願わくば保護者の皆様もご子息ご息女卒業後も専修大学を見守り続けていただければと思います。

(『育友』編集委員長 宮下茂樹)